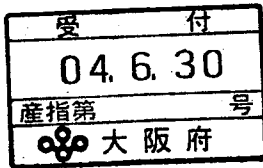


（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 30日

大阪府知事 殿



提出者  
住 所 愛知県刈谷市朝日町一丁目1番地  
氏 名 株式会社ジェイテクト 取締役社長 佐藤 和弘  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0566-25-7211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ジェイテクト 国分工場
事業場の所在地	大阪府柏原市国分東条町24番1号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	25:はん用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額：3,617,140万円
③従業員数	1,791人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和3年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t t
	(これまでに実施した取組) 1. 研磨粉の混合による無機性汚泥(研磨粉)の有価物化による廃棄物削減 2. 濃縮装置の濃縮倍率変更による廃液排出の抑制 3. クーラント油種変更による長寿命化	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t t
	(今後実施する予定の取組) 1. 無機性汚泥(研磨粉)の固形化装置を更新し有価物化を進める	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、廃油、木くず、陶磁器くず、廃プラ、蛍光灯、乾電池をそれぞれ分別、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 廃油をろ過し再生後に再利用した。 ・ クーラント浄化装置0/H時クーラントの再利用。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 特になし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・ 無機性汚泥（研磨粉）の固形化装置の稼働率向上対策			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・定期的に処理状況の現地確認を行っている ・電子マニフェストを一部業者に対し実施した		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 電子マニフェストの全面導入 2. 委託処理業者に対して、引き続き定期的に現地確認を行う		
※事務処理欄			

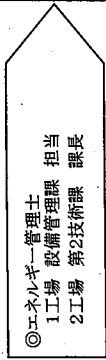
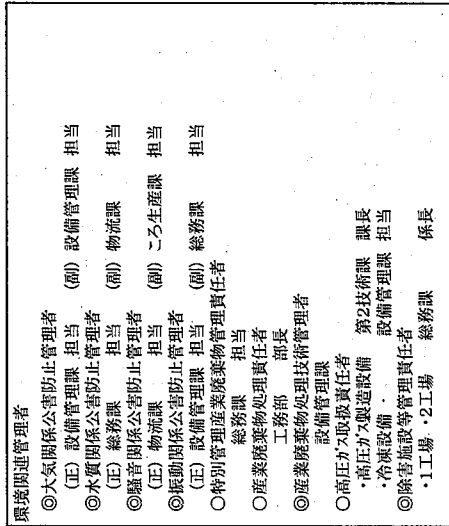
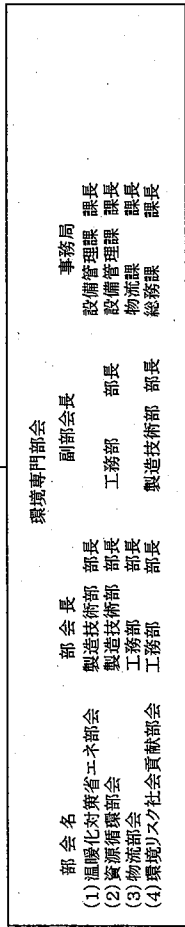
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

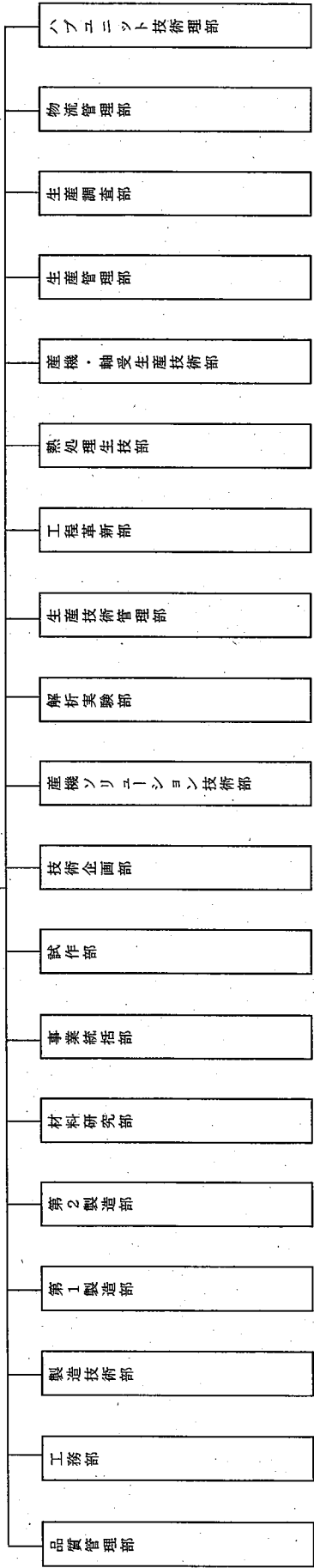
国分事業場 環境保全委員会

委員長 工場長 (◎公害防止統括者)

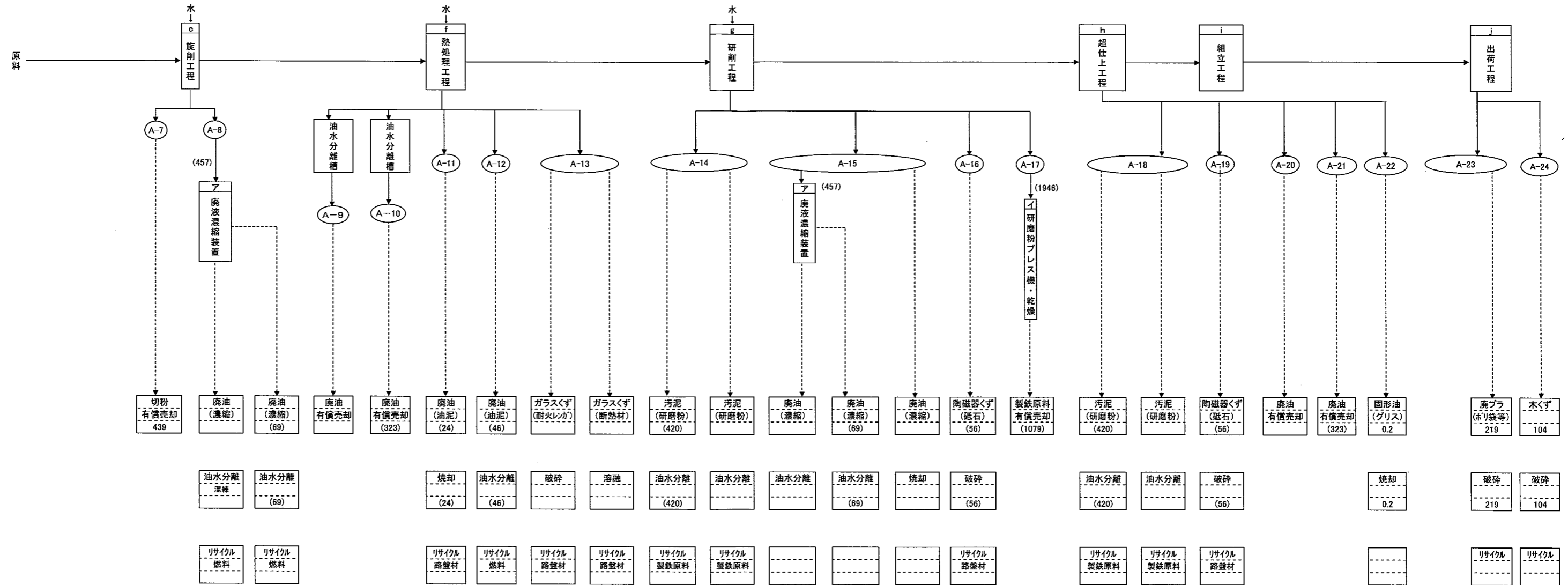
環境保全委員会事務局  
事業場統括部門長  
工務部長  
(◎公害防止統括者の代理者)



実施部門



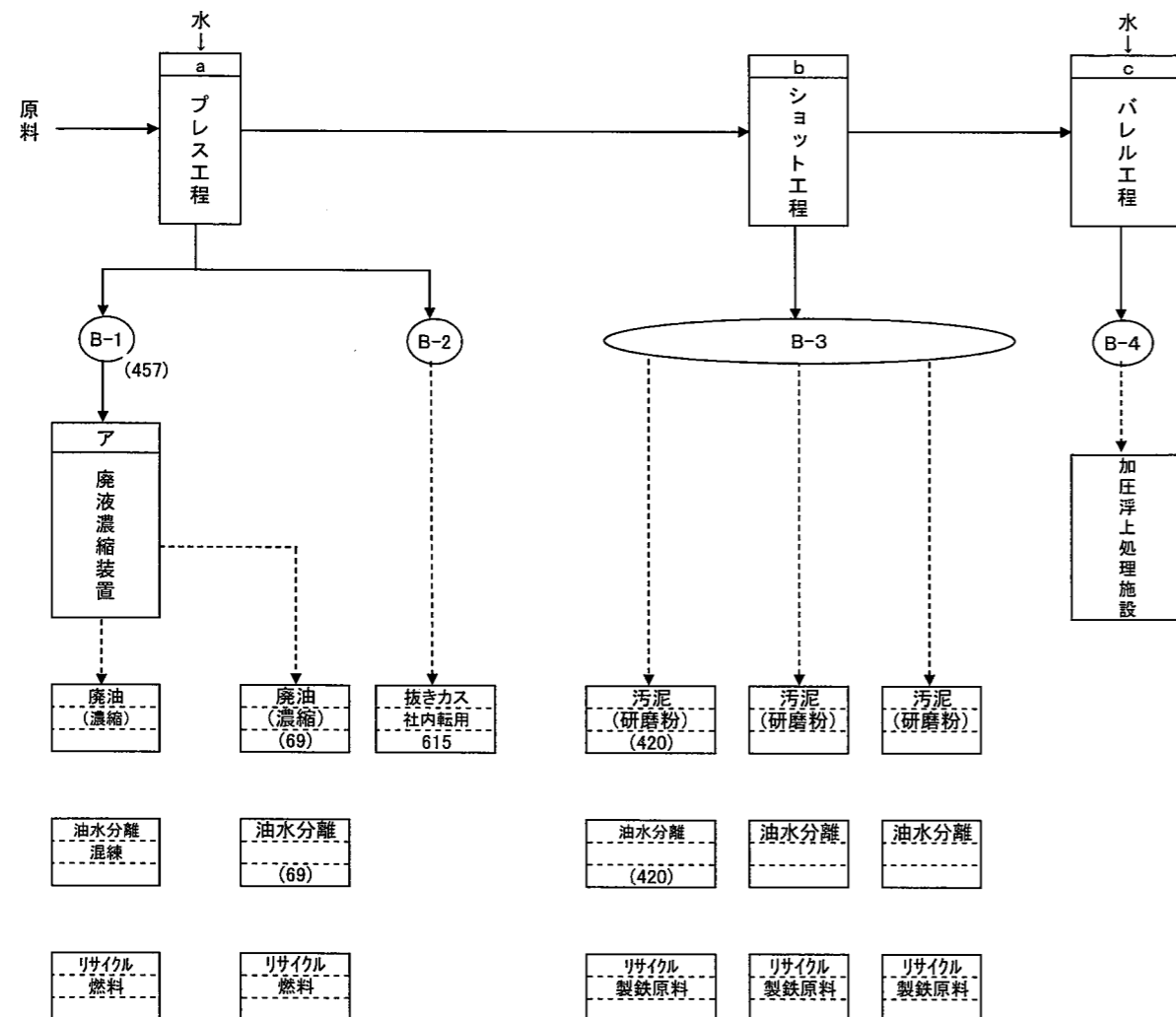
(A) Brgレース製造工程





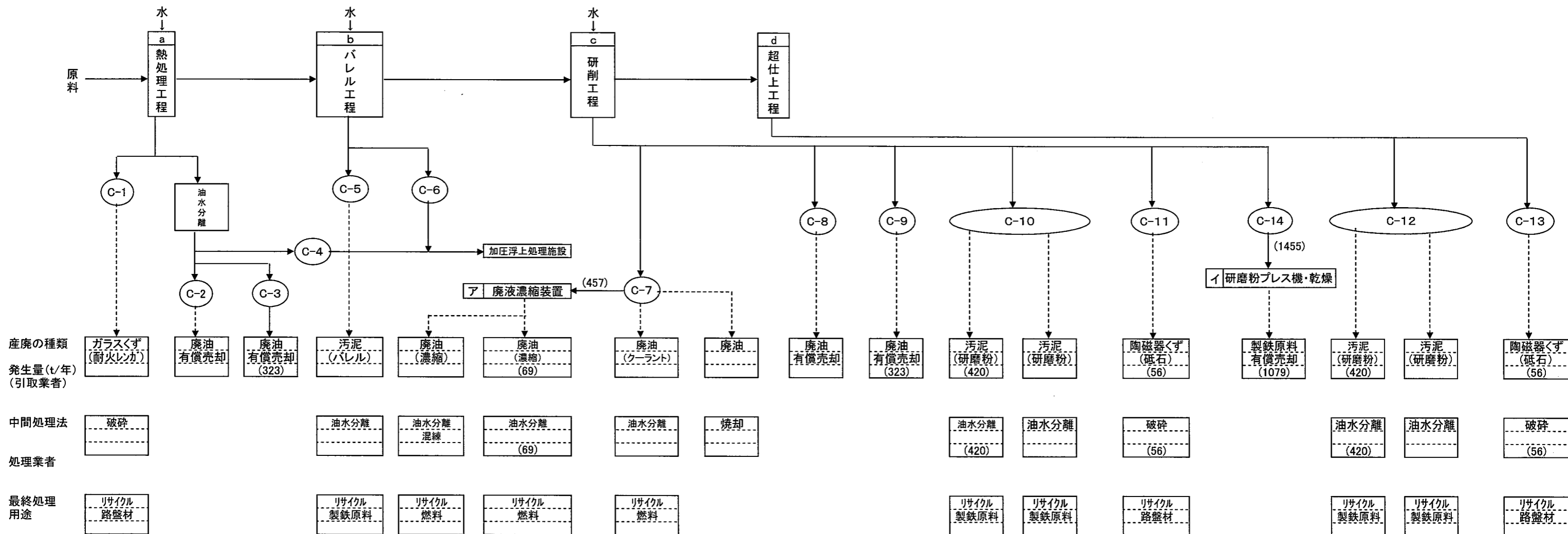
# 令和3年度 産業廃棄物発生・処理フローシート

## (B) Brg保持器製造工程



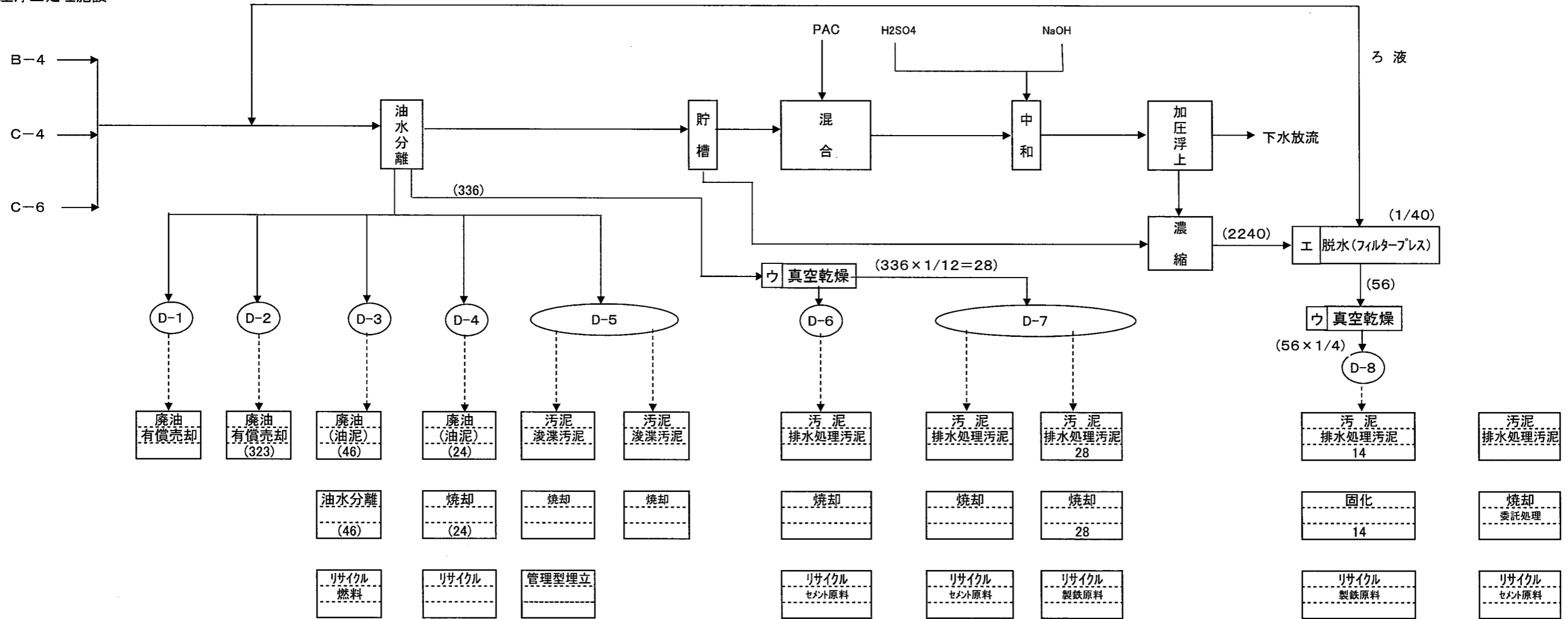
# 令和3年度 産業廃棄物発生・処理フローシート

(C) Brgローラー製造工程



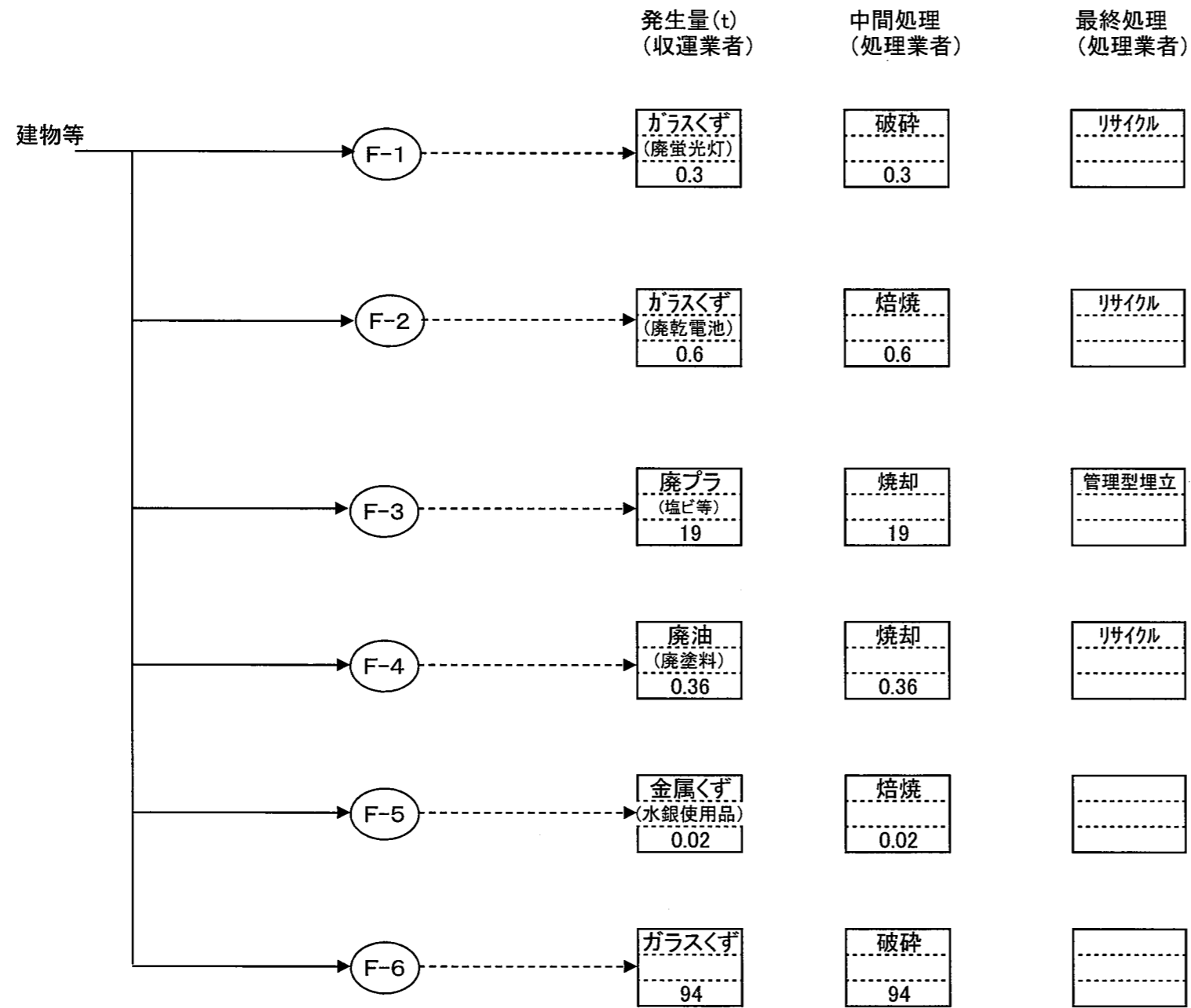
# 令和3年度 産業廃棄物発生・処理フローシート

(D) 加圧浮上処理施設



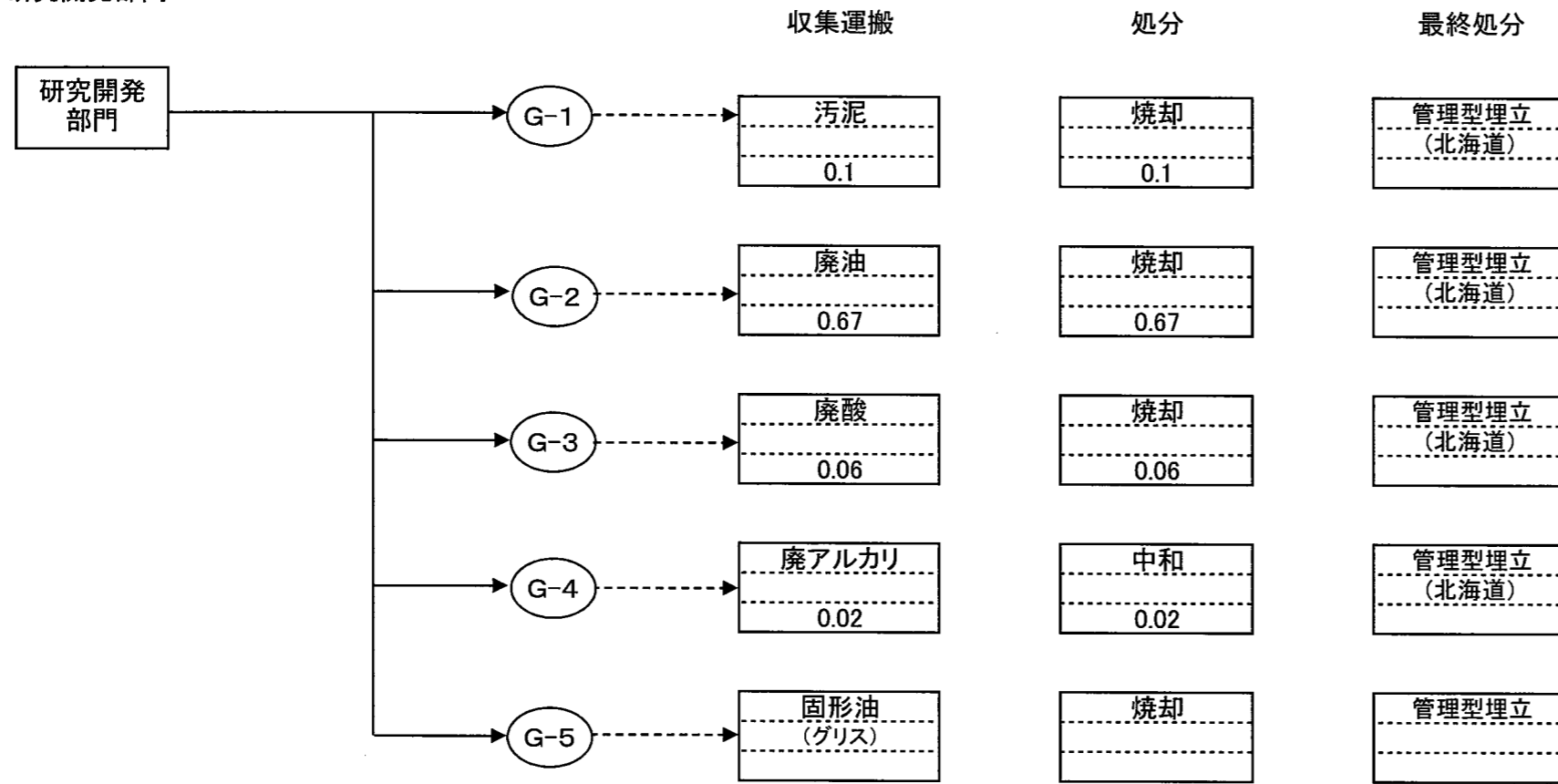
# 令和3年度 産業廃棄物発生・処理フローシート

(F) 施設



# 令和3年度 産業廃棄物発生・処理フローシート

(G) 研究開発部門



前 年 度 【 令 和 3 年 度 】 実 績

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府柏原市国分東条町24番1号	株式会社ジェイテクト 国分工場	工務部総務課		072-977-1112	072-977-9111	

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況														⑩+⑪	⑫+⑬					
	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理及び最終処分を委託した量	委託先による区分						⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬熱回収業者以外の処理委託量	⑭その他の中間処理委託量	⑮埋立処分委託量
コード	名称	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず直接再生利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	⑥の量から⑦の量を差し引いた量	⑧の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑨の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者への焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑮～⑰を除く)	⑮の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑯の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑰の量と⑱の量を合計したもの(自動計算)	⑲の量と⑳の量を合計したもの(自動計算)			
1 0220	①無機性汚泥(研磨粉)	2,579	0	0	2,159	0	1,079	1,080	1,079	0	420	420	0	0	0	0	1,079	0			
2 0220	②無機性汚泥(パレル汚泥)	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0			
3+4 0340	③廃油(油泥)	71.0	0	0	0	0	0	0	0	71.0	71.0	0	0	0	0	0	0	0			
13 0200	④汚泥(排水処理汚泥)	2,576	0	0	2,576	0	42	2,534	0	42	42	0	0	0	0	42	0	0			
5 0220	⑤無機性汚泥(ボンド汚泥)	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0			
12 0210	⑥汚泥(浚渫汚泥)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
6+7 0300	⑦廃油(濃縮廃液)	694	0	0	694	0	69	625	0	69	69	0	0	0	0	69	0	0			
9 0330	⑧固形油(グリス)	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2	0	0	0	0	0.2	0	0			
17 0300	⑨廃油(廃塗料)	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4	0	0	0	0	0.4	0	0			
11 0800	⑩木くず	104	0	0	0	0	0	0	0	104	104	0	0	0	0	98	0	0			
8 1320	⑪陶磁器くず(砥石)	56	0	0	0	0	0	0	0	56	56	0	0	0	0	0	0	0			
25 1300	⑫ガラスくず等(耐火レンガ)	94.0	0	0	0	0	0	0	0	94.0	94.0	0	0	0	0	0	0	0			
10 0600	⑬廃プラ(ポリ袋)	219	0	0	0	0	0	0	0	219	219	0	0	0	0	0	0	0			
16 0600	⑭廃プラ(塩ビ)	19	0	0	0	0	0	0	0	19	19	0	0	0	0	18	0	0			
14 3111	⑮蛍光灯	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0	0	0	0	0.3	0	0			
15 3520	⑯乾電池	0.6	0	0	0	0	0	0	0	0.6	0.6	0	0	0	0	0.6	0	0			
18 0200	⑰汚泥(研究所)	0.10	0	0	0	0	0	0	0	0.10	0.10	0	0	0	0	0.10	0	0			
20 0500	⑱廃アルカリ	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0.02	0	0	0	0	0.02	0	0			
19 0300	⑲廃油(研究所)	0.67	0	0	0	0	0	0	0	0.67	0.67	0	0	0	0	0.67	0	0			
0330	⑳固形油(グリス)(研究所)	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0			
0300	㉑廃油(廃塗料)(研究所)	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0			
2551	㉒金属くず	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0.02	0	0	0	0	0.02	0	0			
0400	廃酸	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0.06	0	0	0	0	0.06	0	0			
1300	ガラスくず(試薬瓶)	0.39	0	0	0	0	0	0	0	0.39	0.39	0	0	0	0	0.39	0	0			
	合計	6,415	0	0	5,429	0	1,190	4,239	1,079	0	1,097	1,097	0	0	0	254	1,079	0			

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和4年度】目標

提出書						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府柏原市四分東条町24番1号	株式会社ジェイテクト 四分工場	工務部総務課		072-977-1112	072-977-9111	

産業廃棄物の種類 コード 名称	計 画 の 実 施 状 況														委託先による区分			
	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接立入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	⑨自ら中間処理した後の立入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理及び最終処分を委託した量	⑪再生利用業者への処理委託量	⑫熱回収業者への処理委託量	⑬熱回収業者以外の処理委託量	⑭その他の中継処理委託量	⑮立入処分委託量	⑯優良認定業者への処理委託量	⑰自ら再生利用を行った量	⑱自ら立入処分又は最終処分を行った量
1 0220 ①無機性汚泥(研磨粉)	2,540	0	0	2,000	0	1,000	1,000	1,000	0	540	540	0	0	0	0	0	1,000	0
2 0220 ②無機性汚泥(パレル汚泥)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3+4 0340 ③廃油(油泥)	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	50.0	0	0	0	0	20	0	0
13 0200 ④汚泥(排水処理汚泥)	3,680	0	0	3,680	0	60	3,620	0	0	60.0	60	0	0	0	0	60	0	0
5 0220 ⑤無機性汚泥(ボンデ汚泥)	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0
12 0210 ⑥汚泥(浚渫汚泥)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6+7 0300 ⑦廃油(濃縮廃液)	650	0	0	650	0	65	585	0	0	65	65	0	0	0	0	65	0	0
9 0330 ⑧固形油(グリス)	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2	0	0	0	0	0.2	0	0
17 0300 ⑨廃油(廃塗料)	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0	0	0	0	0.3	0	0
11 0800 ⑩木くず	90	0	0	0	0	0	0	0	0	90	90	0	0	0	0	80	0	0
8 1320 ⑪陶磁器くず(砥石)	50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	0	0	0	0	0	0	0
25 1300 ⑫ガラスくず等(耐火レンガ)	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0
10 0600 ⑬廃プラ(ポリ袋)	200	0	0	0	0	0	0	0	0	200	200	0	0	0	0	0	0	0
16 0600 ⑭廃プラ(塩ビ)	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	0	0	0	0	20	0	0
14 3111 ⑮蛍光灯	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0	0	0	0	0.3	0	0
15 3520 ⑯乾電池	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0	0	0	0	0.3	0	0
18 0200 ⑰汚泥(研究所)	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0	0	0	0	0.1	0	0
20 0500 ⑱廃アルカリ	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0
19 0300 ⑲廃油(研究所)	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0	0	0	0	0.3	0	0
合計	7,292	0	0	6,330	0	1,125	5,205	1,000	0	1,087	1,087	0	0	0	0	247	1,000	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。